

家庭学習の手引き

那覇市立古蔵小学校

子どもたちには、「読み、書き、計算」など基礎的な力を身に付け、困難な状況でも自分で問題を解決してたくましく生きる人間に育ってほしいものです。学校の勉強や自学自習に取り組むことは、こうした成長を促します。

しかし、どんな勉強をどのようにさせたらよいのかが分からなくて、困ることがあるかもしれません。そんな時に役立てばと考え、家庭学習の手引きを作りました。保護者の皆様には子ども達のやる気をさらに高めるために、家庭学習にサインや励ましの言葉を書いてもらえれば幸いです

*学年による家庭学習……〔宿題〕は、学校で責任をもって指導する内容で、全員が同じように取り組むものです。
〔自学自習〕は、自分に必要な内容や興味の内容を選択して取り組むものです。

① 家庭学習を習慣化しよう

*学習時間のめやす

低学年30分、中学年40分、高学年50分

*学力アップは規則正しい生活から

- ・早寝・早起きをする。
- ・朝食を必ずとる。
- ・テレビは親子で時間を決めて見る。
(ゲームも時間を決める。)
- ・自分で時間割や学習用具をそろえる。
- ・家の手伝いを毎日続ける。

*学習の3つのポイント

- ・テレビや動画を消して、集中して学習する。
- ・机の上をきれいにしてから取り組む。
- ・学習を始めた時刻と終わった時刻をノートに記入する。

② 自学自習の主な内容(各学年共通)

国語

- ・漢字練習・意味調べ・視写・日記・音読
- ・漢字テストで間違った漢字を正しく覚える。
- ・ことばの使い方を覚える。
- ・授業の予習や復習

算数

- ・計算練習・文章問題を解く。
- ・コンパスや定規を使い、作図をする。
- ・テストで間違った問題をもう一度ノートに解く。
- ・授業の予習や復習

社会、理科、総合的な学習の時間、外国語など学習した内容に関係のある内容を本や図鑑、インターネットなどで調べてまとめる。

【家庭学習の進め方の例】

低学年30分	中学年40分	高学年50分
○教科書の音読	○教科書の音読	教科書の音読
○自学自習	○自学自習	○自学自習
・ひらがな	・教科書視写	・教科書視写
・教科書視写	・漢字練習	・漢字練習
・漢字練習	・日記	・日記
・日記	・興味があることの学習	・興味があることの学習
・興味があることの学習		

③ 各学年の主な学習めやす

1 年 生

- ①鉛筆を正しく持って字が書ける。
- ②ひらがな・カタカナが読めて書ける。
- ③小さく書く字「っ」「ょ」「ゃ」などに気を付けて文章が書ける。
- ④1年生の配当漢字をすべて読めて、書ける。
- ⑤たし算・ひき算ができる。
- ⑥時計が読める。

など

2 年 生

- ①2年生の配当漢字をすべて読めて、書ける。
- ②習った漢字や語句を使って短文作りができる。
- ③教科書をスラスラ読めるようにする。
- ④九九がすらすら言える。
- ⑤たし算・ひき算の筆算を定規を使ってきれいに書き、正確に計算できる。
- ⑥決められた長さの直線を正しく引ける。

など

3 年 生

- ①3年生の配当漢字をすべて読めて、書ける。
- ②短い詩が暗唱できる。
- ③簡単なことわざと慣用句を知っている。
- ④主語と述語の意味が分かる。
- ⑤わり算ができる。
- ⑥かけ算の筆算ができる。
- ⑦時間や時刻の計算ができる。
- ⑧はかりを使って重さが読める。

など

4 年 生

- ①4年生の配当漢字をすべて読めて、書ける。
- ②ローマ字を適切に読み書きできる。
- ③文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語が使える。
- ④国語辞典・漢字辞典が正しく使える。
- ⑤かけ算・わり算の筆算ができる。
- ⑥文章問題が正しく解ける。
- ⑦コンパスや分度器を使って簡単な図形が描ける。
- ⑧空気と水の性質、電気の働き、植物の成長などが分かる。
- ⑨地図を使って見知らぬ場所や地名が調べられる。
- ⑩都道府県名が書ける。

など

5 年 生

- ①5年生の配当漢字をすべて読めて、書ける。
- ②今まで習った漢字を使った文章が書ける。
- ③小数のかけ算・わり算ができる。
- ④分母が違う分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑤割合・百分率を使った問題が解ける。
- ⑥47都道府県の位置が分かり、都道府県名が書ける。
- ⑦植物の発芽、天気の変化、物の溶け方などが分かる。
- ⑧パソコンでローマ字入力ができる。

など

6 年 生

- ①小学校で習得すべきすべての漢字を読めて、書ける。
- ②小学校で習う漢字を使った熟語を正しく書ける。
- ③立体(円柱・角柱)が分かり、体積を求めることができる。
- ④分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算ができる。
- ⑤歴史上の事件や人物についてだいたい説明できる。
- ⑥比例、反比例の問題が解ける。
- ⑦三権分立など社会用語のだいたいの説明ができる。
- ⑧世界の主な国々の位置を正しく示せる。
- ⑨物の燃え方、動植物の体の働き、実験道具の正しい使い方などが分かる。

など

④ 生活の中ではぐくむ生きてはたらく力

- ①読書で学力の基礎となる言葉の力を育みましょう。
- ②国語辞典・漢字辞典、その他の辞典や図鑑類を身近に置いて調べる習慣をつけましょう。
- ③日本地図・世界地図を身近に置いて調べましょう。
- ④ニュース番組を親子で見えて話し合しましょう。
- ⑤家の仕事を積極的にいましょう。
- ⑥百人一首など詩歌の暗唱をしよう。
- ⑦将棋やオセロ、パズルなど頭を使うゲームをしよう。
- ⑧自然や生き物とふれあい、くわしく観察しよう。
- ⑨買い物の時、代金の見積もりができるようになろう。

